四 まち の 化 町 新 か

7月 19日 (火)

「こども議会」が 開催されました



窪川中学生が 「文化的施設」を

テーマに議会ヘチャレンジ!

「議会」を体験してみたいという窪川中学生からの要望により、 3回の事前学習を経て、「こども議会」が開催されました。 中学生自身で「疑問」や「要望」等を考え、「伝える」といった 経験をしたことで、「自分たちも町に関わることができる」ことを 実感できる取り組みになったのではないでしょうか。

2022.8.10 発行 句

駄

発行 | 四万十町役場企画課 文化的施設整備推進室 お問い合わせ先 | 0880-22-3124 担当 | 大河原・松下 詳しくは

7月 15日 (金)

~文化的施設を「ちょっぴり」想像する1日~ (「ミニ」

四万十駄場フェ

を開催しました 場所 町立図書館(本館)・美術館

文化的施設ができたら、

どんなことができるかな? ボードガーム



缶ボッジづくり

施設の開館に先駆け、

「どんな施設ができるのか」

ぜひご覧ください。



などなど…

次回開催告知 「施設ではどんなことができるのか」 を想像・体感していただきました。

秋には施設建設予定地での 100名以上の方にお越しいただき、 四万十駄場フェスの開催を にぎやかな1日となりました。 予定しています。 広報「四万十町通信」8月号の連載コーナーで 当日の様子を特集していますので

開館へ向けて一緒に ワクワクしましょう♪

四万十町の新しい文化的施設

こども議会が 開催されました!



この模擬議会は、窪川中学校の地域学習の一環として、

①自分たちが住む社会に参画する貴重な経験をすること

②役場や議会がどのような役割を果たしているのかを知る貴重な体験をすること ③話し合い活動が大人の社会に出たときにどのように生かされていくのかを知ること

を目的に、役場にある本物の議場を使って行われたもので、そのテーマとして、町が現在整備を 進めている「文化的施設」に対する質問を中心に開催されました。



生徒は質問を作り上げるために、議会の仕組 みや文化的施設整備事業について、事前学習を 重ねながら本番に挑みました。

当日は、生徒会と各クラス(1~3年生)の代表者が2 人1組で議員役となって、「一般質問」形式で模擬議 会が行われました。議長役と議会事務局役も生徒が 務め、その他の3年生も交替しながら議場と別室で 議会を傍聴しました。また、執行部役は、町長・副 町長・教育長・文化的施設整備推進室をはじめとした 四万十町職員が出席し、質問への答弁を行いました。

開館までの流れ (予定)

2017

CATVで生中継・再放送されました!



2019 2020 2018 平成31年/令和元年

主な質問内容

生徒たち自身が準備を重ねて 考えた質問は多岐にわたっていて、限られた時間内で しっかりストーリー立てて質問されていました!

【質問の要旨一例】

①多くの人に利用して もらうためにどのような 取り組みを考えているか

②町内で児童や生徒が学 習等のために自由に使用 できる施設は何か所あるか 施設の開館日は何曜日か

④祝日や学校の長期休暇 期間の開館予定はどうか

することは可能が

⑤施設を毎日開館

公共交通のバスを施設 の前まで回せるか

施設のバリアフリー について

コロナ禍になぜ

交流施設をつくるのか

Wi-Fiは 使えるか

施設で本は 購入できるか

ユニバーサルデザインを意識した 自動販売機を設置する予定はあるか

喫煙所の設置は

子どもが運動できる

場所はあるか

施設反対の意見を

どう捉えているか

施設の入館料を

無料にしてほしい

飲食可能な 場所をつくるか 考えているか

2022

文化的施設整備推進室の感想

今回の体験を通して、生徒の皆 🍑 さんが、議会の仕組みを学び、 社会をより知りたい、自分や 仲間の考えを伝えていきたいという 気持ちに繋がっていることを願います。 今回、文化的施設の事業を自分ごとと して捉えた中学生の率直なご意見を 聞くことができ、よりよい施設整備へ つながっていく機会となりました。 子どもたちの「学びたい」「知りたい」

文化的施設の役割の1つです。

2023

2024

四万十町「文化的施設検討委員会」設置 平成29年9月~令和2年3月まで

基本構想策定

基本計画策定

基本設計完成

2021

R4 10 H 7 R4 12 H 7 P

施設完成